



アスベスト

負の遺産のない未来へ

第9期

A-LINE

Environmental Management Report



株式会社

A-LINE

発行日：2021年3月15日

対象期間：2019年10月1日～2020年9月30日

CONTENT～目次～

1.	ご挨拶
2.	環境経営方針 ＜環境経営理念＞ ＜環境保全への行動指針＞
3.	会社概要 1) 事業者名及び代表者氏名 2) 所在地 3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先 4) 事業内容 5) 事業の規模
4.	認証・登録の対象範囲
5.	事業の紹介
6.	環境経営組織図及び役割・責任・権限表
7.	主な環境負荷の実績
8.	環境経営目標及びその実績
9.	環境経営計画の取組結果とその評価
10.	環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟
11.	緊急事態対応訓練
12.	代表者による全体の評価と見直し・指示
13.	これまでの環境活動の紹介
14.	おわりにあたって



1. ご挨拶

株式会社A-LINEは全国のアスベストゼロ、アスベスト専門業社ナンバーワンを目指し、より良い未来を作るべく、日々精進しております。

健康被害を引き起こすアスベストを扱っているからこそ、環境問題と真摯に向き合うためにも全社一丸となりエコアクション21への取り組みを始めました。

今後、社内だけではなく、社外への発信にも力を入れていきたいと思っております。

2. 環境経営方針

〈環境経営理念〉

人々の暮らしと環境について真剣に取り組むからこそ与えられる「安心」があります。

そのために地球温暖化への対応や地域の環境活動に自主的・積極的に取り組みます。

地球環境保全への貢献を実現し、より素晴らしい環境・未来を子どもたちに残すことが出来るように全社員が一丸となって継続的に改善活動に取り組む企業を目指します。

〈環境保全への行動指針〉

1. 環境関連法規制や条例等の遵守に加え、自主基準を定めて運用、評価します。
2. 省エネ活動の為に電力・ガソリン等の燃料消費に伴うCO2削減に取り組みます。
3. 廃棄物の発生抑制・削減及びリサイクルを推進します。
4. 水資源を有効活用し、節水・排水量の削減に努めます。
5. 材料等のグリーン購入を推進します。
6. 環境問題の発生の防止に努めます。万一、環境問題が生じた場合は環境負荷を最少化にするようにします。
7. 全社員に環境負荷軽減活動の周知を図り、環境問題の重要性の自覚、環境に対する意識向上を図ります。
8. ステークホルダーへの情報開示と積極的なコミュニケーションに努め、相互理解と協力関係の強化に努めます。

制定日： 2019年6月18日

株式会社 A-LINE

代表取締役 田畑 晃一

3. 会社概要

更新日： 2019年6月18日

1) 事業者名及び代表者氏名

株式会社 A-LINE

代表取締役社長 田畑 晃一

2) 所在地

〒591-8011

大阪府堺市北区南花田町52-1（本社・倉庫）

〒272-0142

千葉県市川市欠真間2丁目16番地12号

つくば5号館7階(関東営業所)

3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

■ 責任者 営業部 部長 東 大和

■ 担当者 環境事業部 松川 茉美

■ 連絡先 TEL: 072-245-9960

FAX: 072-245-9961

4) 事業内容

■ アスベスト工事一式

5) 事業の規模

■ 設立 平成24年4月20日

■ 資本金 4,000万円

■ 売上高 14億5,800万円(第9期 実績)

		本社	関東営業所	倉庫	合計
従業員数	名	18	3	無人	21
延床面積	m ²	261.74	41.57	125.19	428.5

4. 認証・登録の対象範囲

■ 登録組織名： 株式会社 A-LINE

■ 対象事業所： 本社、倉庫

■ 対象外： 関東営業所 2024年までに認証取得予定

■ 活動： アスベスト工事一式

5. 事業の紹介



石綿除去作業
(レベル1吹付け材)



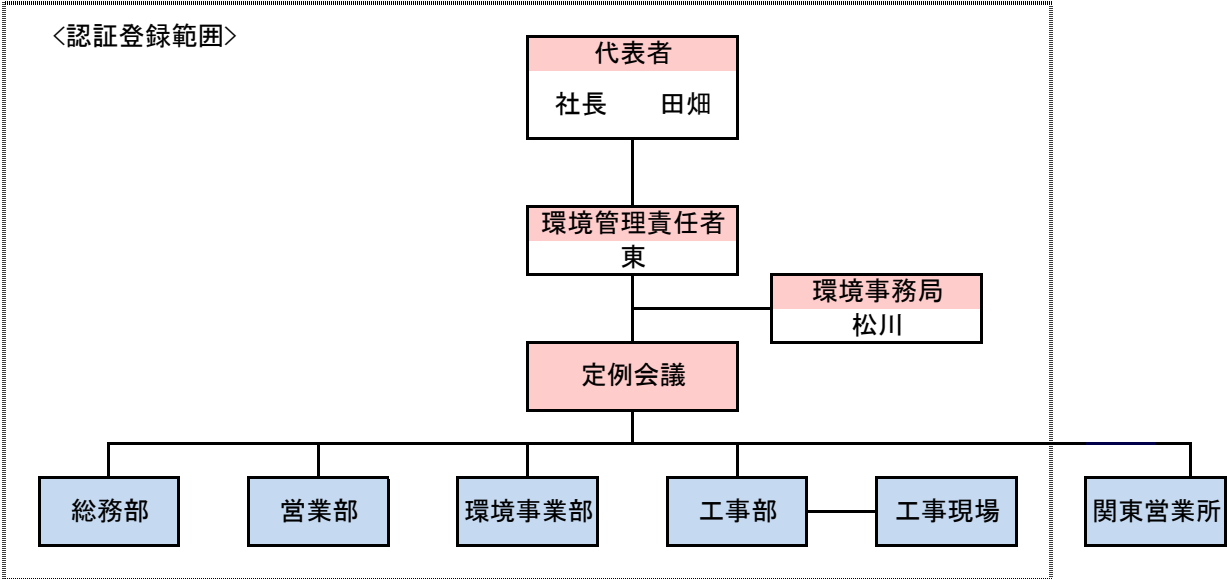
石綿除去作業



石綿除去作業
(レベル3外壁仕上塗)

6. 環境経営組織図及び役割・責任・権限表

更新日： 2019年6月18日



	役割・責任・権限
代表者(社長)	・環境マネジメントに関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し、指示 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境事務局の統括 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境マネジメントシステムの実績を代表者へ報告 ・環境経営システムの構築、実施、管理
環境事務局	・環境管理責任者の補佐 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境マネジメントシステムの方針、マニュアル、規程類の発行、改定管理
定例会議	・環境経営計画の審議 ・環境活動実績の確認・評価
部門長	・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 ・試行・訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

7. 主な環境負荷の実績

項 目	単位	2017年	2018年	2019年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	23,789	25,785	34,811
廃棄物排出量 (一般廃棄物排出量)	kg	199	173	158
総排水量	m ³	95	102	93

※二酸化炭素排出係数 0.418 kg-CO₂/kWh 関西電力の調整後排出係数(2017年度実績)
 ※負荷の実績は工事現場を含む

8. 環境経営目標及びその実績

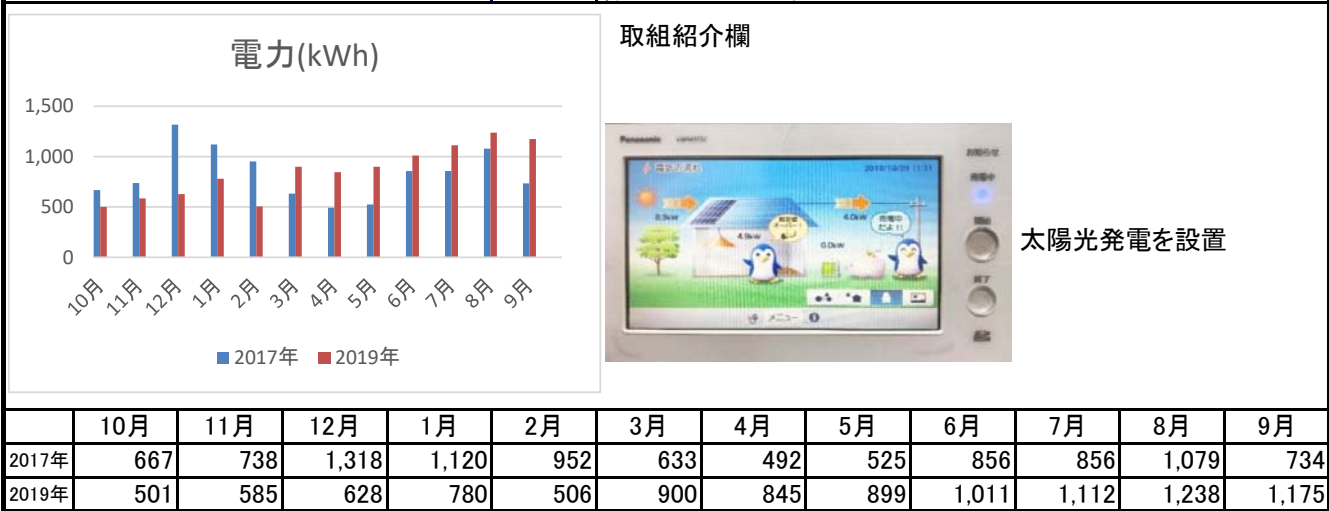
項 目	年 度	基準値	2019年		評価	2020年	2021年
		(基準年)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	4,023	3,942	4,255	×	3,862	3,822
	基準年度比	2017年	98%	106%		96%	95%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	19,767	19,371	30,555	×	19,174	18,976
	基準年度比	2017年	98%	155%		97%	96%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	23,789	23,314	34,811		23,036	22,798
一般廃棄物の削減	kg	199	185	158	○	185	179
	基準年度比	2017年	93%	79%		93%	90%
水道水の削減	m ³	95	92	93	×	87	86
	基準年度比	2017年	97%	98%		92%	90%
グリーン購入の推進 環境に配慮した工事の推進	行動目標(次項による)						

9. 環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標: ○達成 ×未達成

活動: ◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	基準年と比較すると、新社屋が増えた分kwh数は増加しているが10月から2月までは空調温度の調節等を徹底した結果、kwh数は基準年よりも下回り、目標を達成している。今後も引き続き夏場での空調温度(冷房28℃)を徹底するとともに、こまめな消灯や事務機器等の節電に取り組みたい。また、クールビズ・ウォームビズの実施を行い、昨年度の目標としている段階的な削減を今年度も目標としていきたい。
・空調温度の適正化(冷房27℃ 暖房20℃)	△	
・不要照明の消灯	○	
・使用していない部屋の空調停止	○	
・扇風機の併用	△	



自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	基準年と比較するとガソリン使用量は増加しており目標値に達成できていないが、アイドリングストップを徹底し、乗り合わせを行い複数台の車を同じ場所に走らせない事や急ブレーキ、急発進の防止等を各自が意識出来るようになってきている。また、定期的なメンテナンスも業務の一環としており、今後も引き続き低燃費車を優先的に使用し、エコドライブを実施していく。
・アイドリングストップ	○	
・効率的な移動	○	
・急加速・急停車の防止	○	

ガソリン(L)

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2017年	592	408	650	350	251	598	229	422	283	590	565	376
2019年	775	942	1,039	426	869	793	916	686	382	728	632	162

取組紹介欄

低燃費車の使用

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2017年	592	408	650	350	251	598	229	422	283	590	565	376
2019年	775	942	1,039	426	869	793	916	686	382	728	632	162

軽油(L)

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2017年	295	295	371	125	151	154	44	148	175	430	277	417
2019年	229	175	225	208	192	256	441	1,678	216	445	164	108

取組紹介欄

エコドライブ10のすすめを携帯し環境に配慮した運転を心がけている

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2017年	295	295	371	125	151	154	44	148	175	430	277	417
2019年	229	175	225	208	192	256	441	1,678	216	445	164	108

一般廃棄物の削減

数値目標

- ・分別の徹底
- ・裏紙の利用
- ・印刷物の削減(社内連絡等にLINE等を利用)
- ・ゴミ箱の数量の削減

達成状況

○

○

○

○

○

取組結果とその評価、次年度の取組内容

分別意識は全員が出来ており、基準年を下回り目標を達成している。今後も、、リユース(再使用)を意識し、消耗品等は詰め替えなど使い捨てではないものを購入していく。また、ミспリントを無くすと共にペーパーレスを心掛け、継続して一般廃棄物の削減に取り組む。

一般廃棄物(kg)

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2017年	17	16	18	16	16	18	18	17	16	16	16	16
2019年	13	11	17	11	13	17	14	12	13	14	10	13

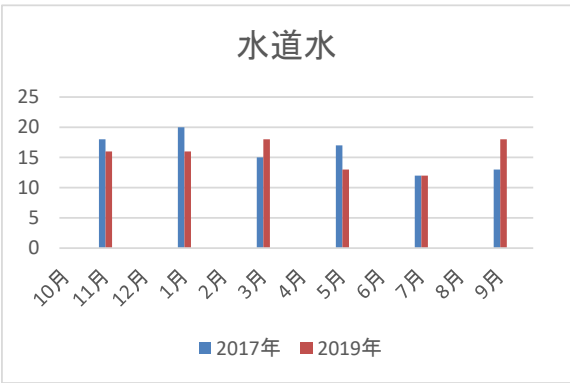
取組紹介欄

裏紙の利用

分別用ゴミ箱の設置

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2017年	17	16	18	16	16	18	18	17	16	16	16	16
2019年	13	11	17	11	13	17	14	12	13	14	10	13

水道水の削減		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標		×	新社屋の完成と同時に節水トイレを設けたが、目標値に達成できていない月がある。今後は洗い物はまとめて行い、蛇口の閉め忘れチェックや漏水のチェックを徹底していく。また、手洗い場等への注意喚起シール貼付など工夫をし節水に取り組む。
・節水トイレの設置		○	
・ウォーターサーバーの利用		○	

水道水  <table border="1"><thead><tr><th>月</th><th>2017年</th><th>2019年</th></tr></thead><tbody><tr><td>10月</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>11月</td><td>18</td><td>16</td></tr><tr><td>12月</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>1月</td><td>20</td><td>16</td></tr><tr><td>2月</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>3月</td><td>15</td><td>18</td></tr><tr><td>4月</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>5月</td><td>17</td><td>13</td></tr><tr><td>6月</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>7月</td><td>12</td><td>12</td></tr><tr><td>8月</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>9月</td><td>13</td><td>18</td></tr></tbody></table>		月	2017年	2019年	10月	0	0	11月	18	16	12月	0	0	1月	20	16	2月	0	0	3月	15	18	4月	0	0	5月	17	13	6月	0	0	7月	12	12	8月	0	0	9月	13	18	取組紹介欄  節水シールの貼付け
月	2017年	2019年																																							
10月	0	0																																							
11月	18	16																																							
12月	0	0																																							
1月	20	16																																							
2月	0	0																																							
3月	15	18																																							
4月	0	0																																							
5月	17	13																																							
6月	0	0																																							
7月	12	12																																							
8月	0	0																																							
9月	13	18																																							

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2017年	0	18	0	20	0	15	0	17	0	12	0	13
2019年	0	16	0	16	0	18	0	13	0	12	0	18

グリーン購入の推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・有害性の少ない資材の購入	○	事務用品はグリーン商品を常用し、社内の照明もLED照明を導入。低燃費の自動車を優先的に使用し、環境に負荷が出来るだけ少ないものを選んで購入していく。
・省エネ性能の高い電気製品の購入	○	
・燃費のよい自動車の採用	○	
・事務用品グリーン購入	○	

取組紹介欄



グリーン商品の購入

環境に配慮した工事の推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・工事の効率化	○	昨年度から引き続き、工期厳守の徹底と作業ミス防止の徹底を図り、環境に配慮した工事を行う事が出来ている。また、現場周辺への粉じん飛散防止対策を講じて環境測定の結果問題無し。今後も現場周辺への配慮を怠らないように努める。
・作業ミスの防止	○	
・顧客クレーム削減	○	
取組紹介欄		



事務所内に大きなホワイトボードを設置し、工程等をわかりやすく可視化することにより工期厳守の徹底、さらにより効率的な工事を行えるようにする。

10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)	遵守状況
廃棄物処理法	一般廃棄物・産業廃棄物(廃石綿等)	○
道路運送車両法	車両の大きさ・重量、乗車の保安基準	○
道路交通法	車両の大きさ・重量、通行制限	○
道路交通法	車両からの積載物のはみ出し、安全運転管理者等	○
労働安全衛生法	石綿含有建材の解体等の作業	○
大気汚染防止法	石綿含有建材の解体等の作業	○
自動車NOx・PM法	対策地区内で排気ガス規制に適合した自動車の使用	○
顧客要求事項	品質管理	○

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

11. 緊急事態対応訓練

緊急事態の想定： 安全衛生協議会

■実施日： 2020年2月7日	■実施場所： 株式会社昇和 本社
■参加者： 元請会社,1次協力会社他,(株)A-LINE池原	■実施内容： 災害時に現場で起こりうる事故・ヒューマンエラー
■評価：	手順書の変更の必要性 ☒ あり ☐ なし

事件事例を参考にし、災害時の事故を未然に防ぐために何が必要なのか改めて考える事ができた。

■実施状況の様子

過去の災害時の事件事例を参考にし、災害時の事故を防ぐ為の手順や段取りを話し合いました。
今後はリスクアセスメントの作業手順書を各現場事に作成し、手順書に基づき安全な作業を徹底する。自社だけではなく協力業者の方にも確実に実施してもらうようにするよう話を進めていきました。

◆ リスク評価推進活動 ◆

○ 労働安全衛生マネジメントシステムに関する指針に基づく「年間安全衛生計画」に、リスクアセスメントの実施及び結果に基づく措置を盛り込む。
○ 作業毎にリスクアセスメントを確実に実施し、これに基づく低減措置の実施及び残存リスクの見える化を図る。
○ リスクアセスメント作業手順書を作成し、これに基づき安全な作業を実施する。

緊急事態の想定： 地震の発生

■実施日： 2019年12月5日	■実施場所： 堺本社
■参加者： (株)A-LINE 本社スタッフ	■実施内容： 地震発生後の初期避難
■評価：	手順書の変更の必要性 ☐ あり ☒ なし

手順書通り実施できました。

■実施状況の様子

弊社ではハザードマップの対象外となっている為、前年度と同様津波の訓練ではなく地震発生時の訓練を行いました。
新社屋が完成し、以前よりも拡大したが事務所内は仕切り等もなく物などももしっかり収納している為、ドア付近の人が素早くドアを開け避難経路を確保し、それ以外のスタッフも迅速に机の下に一時避難することに成功しました。
この後、揺れが収まり次第、建物の外に避難出来ました。
次回は、他のフロアにスタッフがいる場合の避難訓練を実施しようと考えています。



※工事現場に関しては、元請の安全衛生協議会等へ参加して緊急事態に備えています。

12. 代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日： 2020年3月10日
代表取締役 田畑晃一

今年度は新社屋が完成し、延床面積が大幅に増加したこともあり、電力使用量などは2017年の基準値や目標値に達成出来ていない項目もありました。ですが、社員にはこの1年で省エネがしっかりと根付いてきているように思えます。

また、新社屋に関しましては省エネ製品を使用しておりますので、今後は電力使用量も基準年・目標値に達成できるよう取り組んで参ります。

未来に何を残すのか、エコアクション21に取り組む事で改めて考え直す事が出来ました。

まだ、未達成項目が多数ありますので、次年度については目標設定など現状のままエコアクション21の活動を浸透させていきたいと考えております。

会社規模の拡大が今後も急速に進む予定なので、今年度同様、最低限の消費エネルギーの中で会社を成長させていき、今後も更なる会社の発展とともに全社一丸となり環境保全に全力で取り組んでまいります。

環境経営方針	☒ 変更なし	☐ 変更あり
環境経営目標・計画	☒ 変更なし	☐ 変更あり
実施体制	☒ 変更なし	☐ 変更あり

13. これまでの環境活動の紹介

2019年7月18日 近隣清掃



会社前の清掃に加えて、みんなで

会社周辺の清掃をおこないました。

近隣の方に挨拶をしたり

和やかな雰囲気の中、清掃活動を

行うことが出来ました。

14. おわりに

弊社では、地球環境や自然環境を次世代に残すための活動としてエコアクション21に取り組んで参りました。

省エネ製品を取り入れ、社員の省エネに対する意識向上もエコアクション21を取り入れる前とは全く違うように感じております。

今後も消費エネルギーのコストを抑え、環境保全活動を推進してまいります。